

開催日時：平成30年7月18日（水）13：30～15：00

開催場所：ルポールみずほ 3階 ゆりの間

出席者：三浦亮評議員（議長）、木村評議員、松浦評議員、佐々木評議員、
佐藤評議員、館岡評議員、小林評議員、三浦潔評議員、松淵評議員、
中田支部長、桜田部長、三浦部長、佐藤グループ長、二田グループ長、
安田グループ長、間杉グループ長、沼倉主任、三澤主任、菅野主任（記）

議事録署名人：松浦評議員（事業主代表） 三浦潔評議員（学識経験者）

■ 議事事項

1. 平成29年度協会けんぽの決算と秋田支部の収支について

■ 質疑応答、意見交換等

1. 平成29年度協会けんぽの決算と秋田支部の収支について

【学識経験者】

全国、秋田県とも良い決算でよかった。大きな組織になると被保険者の数を増やすことが黒字化に寄与する。県内企業の協会けんぽへの加入状況はどうなっているか。

【事務局】

30年3月時点で加入事業所数は15,670事業所で、法人の事業所は大部分加入している状況。

【学識経験者】

準備金は約3ヶ月分あるが、4ヶ月分くらいになった時どのような議論になるだろうか。2ヶ月分くらいが適正ではないのか。

また、協会けんぽの保険財政のシミュレーションは、危機感を煽っており国の脅しのように感じる。加えて、労働力不足の今、賃金上昇率0%はありえない。もう少し現実的な数字での試算が必要に思う。

【事務局】

貴重なご意見として受け止めさせていただく。ここ2、3年の議論の中で各県の評議会からもそういった意見が出てきている。31年度の保険料率を協議するときに、あらためて協会としてのスタンスが示されるので、その時に議論していきたい。

【学識経験者】

秋田支部の収支差決算についても、協会けんぽ全体の決算同様、前年度と比較した方がわかりやすい。

【事務局】

ご意見を踏まえ、参考にしていきたい。

【学識経験者】

準備金についてはどう活用しているのか。

【事務局】

準備金は、健康保険法施行令により一部を定期預金にて行っている。

【被保険者代表】

地域差分が、2年後の保険料率の引下げに寄与することは、給料で生活している者にとって非常にありがたい。ところで、激変緩和とインセンティブ制度の関係はどうなっているのか。

【事務局】

激変緩和は31年度で終了し、32年度よりインセンティブ制度が始まる予定。

なお、地域差分については31年度の保険料率が下がる方向に寄与するが、現時点ではどの程度影響するかわからない。

【事業主代表】

秋田支部の収支が2年連続黒字になったことは非常に良いこと。要因をどう分析しているのか。人手不足で様々な福利厚生等コストも増えているなか、保険料負担が減ることはありがたい。今後も医療費適正化等を行い、支出を抑制してもらいたい。最終的には事業主・加入者にとって有益になる。

【事務局】

全国平均での被保険者数や医療費の伸びを仮定して、保険料率が試算されている。秋田は全国平均に比べ、見込みより被保険者数が伸びず医療費もかからなかったことが要因と考えられる。

前回の評議会でも医療費分析等についてお示ししたが、さらに踏み込んだ分析を行い要因等を調べていきたい。

【事業主代表】

協会発足時の赤字状況と比べると、信じられない思いである。

【事業主代表】

加入者の構造はどうなっているのか。

【事務局】

秋田支部の加入者全体は減少しており、被保険者は増加し被扶養者は減少している。被保険者が増えているのは年金機構での適用拡大が影響している。年金機構は、ここ数年適用拡大を強化してきており、事業所数も増加している。年金機構では引き続き適用拡大を行っていく予定だが、秋田県で被保険者の増加傾向が続くかは不透明である。

【被保険者代表】

評議員になったばかりの21年度は、単年度収支、準備金共にマイナスだった。この10年間行った様々な施策の効果が出てきていると思う。講演会やジェネリック医薬品使用促進の取組みなど、特効薬はな

いと思うが着実に実行して行ってほしい。

【被保険者代表】

一個人の意見として、準備金残高、保険財政などマクロ的なものは非常にわかりづらい。医療費は、医療の抑制ではなく、健診受診率の向上など健康づくりの啓発を進めることで抑制していくといった姿勢が必要。個人ではそういった情報を取得するのは難しいので、事業所を通じてなど協会けんぽのアナウンスが重要になってくる。

【被保険者代表】

激変緩和が無くなると現在プラスに効いている地域差分が吸収されてしまうので、より一層インセンティブ制度への取組みが重要になってくる。

積極的にインセンティブ制度の広報を行ってほしい。

【事務局】

インセンティブ制度については、研修会・広報等にて引き続きしっかり周知していきたい。

【学識経験者】

協会けんぽ加入者のタバコの喫煙率のデータはあるのか。

秋田の健保組合加入者も非常に喫煙率が高い。また、保健指導対象者で指導を受けない方、要精検にも関わらず病院へ行かない方も多い。対応について苦慮している。

【事務局】

喫煙率のデータについては、後日お示ししたい。

【議長】

—採決—

平成 29 年度秋田支部の収支差決算について、全員一致で承認された。

■次回評議会の開催 10 月下旬開催予定